

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



大崎 礼子さんへ

命の大切さ学習教室に参加して、心に残ったことがたくさんありました。その中でもとくに心に残ったことが3つあります。1つ目は、命はどれだけ大切なものかを知ることができました。大崎さんが「命をうばわれたらあと帰ってこない」と言ったことに私は心が痛くなりました。だから私は、友達や家族、知り合いに「死ね」「くそ」などいってはダメなことをせたいに言わないようにしたいです。2つ目は、運転についてです。私はしょうらい運転をするときに、ルールはぜったいに守り、加害者にもならないようにしたいです。今、私が出来ることは、自転車のルールを守ることです。大崎さんが「自転車は、車と同じ」と言っていました。それを聞いて私は、よくおじいさん、おばあさんが歩いているので「気を付けよう。」と思いました。3つ目は大崎さんとお兄さんたちについてです。大崎さんは、毎日事故がおこったところに行っているといっていましたね。私は、大崎さんがどれだけ涼香ちゃんを好きだったか、すごくわかりました。お兄さんも、自分のせいとわかっていて、それと飲酒運転の人は、怖いと思いました。お兄さんも大崎さんが優しい人だと思いました。

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

神代中学校

細川 実像

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今回、大崎さんの娘さんが亡くなった時の話、そして大崎さんの家族の人達の、
自分の大切な家族が一人居なくなった時の心境を、良く読み取れるように詳しく聞い
ました。そして大崎さん達家族の加害者の人への思い、怒り、悔しさ、悲しさがお話
から感じられました。そして、息子さんの佑輝さんの妹さんに対しての思いを向けた歌、
とても感動的でした。妹さんへの「逢いたい」、そして「幸せになっているよ、君(涼香さん)は
幸せに暮らしているかい?」という天国の涼香さんに向けた思いが、しっかり分かりました。
そして、大崎さんが伝えたい「命を大事に」という気持ちを、話から濃く、鮮明に読
み取れました。歌の「絶対死ねない」という歌詞から、涼香さんの分まで生きてい
よ、という思いを読み取れました。この歌詞から更に、涼香さんをもとてもとても
大事にしていたんだな、と思えました。大崎さんの話を聞き、大崎さん自身も、その
家族も、そして亡くなってしまった涼香さん自身も、離れるのはさぞさびしかたでしょう。
更に、息子さん達は涼香さんが自分達の前で死んでいてのを見てしまった訳であ
り、心には一生かけても絶対に治らない大きな傷を負って、なお今を生きているは
ずです。話を聞き、僕はこれからも、家族、友人、支えてきてくれた人々に感謝を抱
きながら、今を生き、歩いていこうと思いました。そして、かけがえのないこの地球に生
きた小さな命を、そんな傷い大事な大事な生命、身体を、自分自身を一生かけて
この世界で守っていこうと思えました。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

清水 瑛太

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、命の大切さや、大切な人を
失った事に対する気持ちを聞いて、事故の怖さや、命の大切さ
をあらためて知れました。今までの僕は、生きている事、家族や
友達と過ごす事、勉強をする事、今できている事がすべてあたり
前でした。たけと話を聞いて今までの僕にとってのあたり前が
亡くなってしまった人にとっては、あたり前ではないことに気づき
ました。礼子さんから教えてもらったことをしっかりと覚えて、生活
していきたいと思います。これからは今までよりもっと家族や
友だち、何より自分の命を大事に生きていきたいと思います。
僕はもうこんな事故がおきないように思っています。
だから、これからの人生で加害者にも被害者にもならないよ
うに、毎日を大事に、気をつけて生活していきたいと思います。
被害者の家族のお話を實さいに聞くのはこれが初めて
でした。本当にすごい体験をしたと思いました。僕たちに
必要な事を伝えてくれてありがとうございました。お元気でいて
ください。

学校名

仙北市立神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

高橋 快斗 より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日は、秋田県仙北市立神代中学校にき
て、命の大切さや、被害者や被害者の遺族のつらさ、
交通ルールの大切さについて教えていただき、あり
がとうございました。大崎礼子さんと涼香さんの会
話の様子や涼香さんが亡くなった年のクリスマスの次
男の言葉、その次男がつくった歌をきいた時、とても
悲しい気持ちになりました。また、飲酒運転で軽
トラックで集団登校中の小学生に突っ込んできた、
加害者のことや、そういった人達がまだたくさんいる
ことなどを聞いて、改めて、交通ルールの意味やその大
切さを実感しました。この、命の大切さ教室を通して、被
害者とその家族の悲しさ、苦しさ、つらさ、そして、命の大
切さそして、自分の家族や友達の大切さ、自転車や自
動車を運転するときのルールの大切さを知ることができま
した。本当にありがとうございました。来年入学してくる
中学生にも命の大切さ学習教室をひらいてあげてくだ
さい。

学校名

仙北市立神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、普通の明日が来ることは
当たり前のことじゃないんだなと改めて感じました。

例えば、涼香ちゃんのように普通の生活をしていただけで
突然命を落とすことだってあるし、遺族の方たちのように
毎日一緒に過ごしていた大切な家族が突然いなくなったり
することもあります。

七くなってしまった涼香ちゃんはもう大好きな家族や
友達に会ったり、やりたかったことをつえるという
こともできません。遺族の方も、加害者や他人には
分からないくらいの悲しみや後悔を背負ってこの先
生きていかなきゃいけません。

加害者の人がルールを破ったことで大崎さん家族
に普通の毎日が戻ってくることはありません。

だから、もし自分が将来免許をとって運転をすることに
なったら絶対にルールを守り、いつも細心の注意を
はらって運転したいです。それと、当たり前で明日を
迎えられることに感謝しながら1日1日を大切に生きていきたいです。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

三浦 柚友

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、一番に思ったことは、自分の命を全
力で守ろうと思いました。自分だけではなく家族や友達、大切な人
も守りたいです。飲酒運転は本当にいけないことだし、「家が近い
から」「少しだけ飲んだだけだから大丈夫」などという理由で運転するのはもてい
けないことだと考えました。私は昔、シートベルトをせずに車に乗っていたとき
がありました。そのときに事故にあい、前の席に座っている兄のそばまで飛
んでいきました。今でもそのときのことを覚えていて、そのときの痛みも覚えていて
います。今は当たり前ですがシートベルトをしています。これからはきちんとシートベルトをし、大
人になっても、マナー、ルールを守っていきたいです。今、7歳の妹がいます。横
断歩道を渡るときは、妹の手をにぎり、左右をきちんと見て渡るようにしたい
と思いました。あと、まだ産まれたばかりの弟もいます。弟が大きくなるときは、妹
のときのように、渡るときは手をにぎり、左右を見て、渡るということを忘れずに生活
していきたいと思っています。自分が大人になり、子供ができた時、きちんと周りを見
ることを、横断歩道を渡る時は、左右を確認すること、自分の命を大切に
すること、その3つを伝えられるようにしたいです。今日の話を聞いて、改めて、自
分の命を大切に、家族や友達を今よりも、もっと大切にしよう
と守っていきたいです。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

吉村 結暖

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日の命の大切さ学習教室では、一番に被害者さんのご家族さんの悲しみや後悔がとても伝わってきました。被害者さんやそのご家族さんは何も悪くないのに、あたり前の日常をうばわれてしまうのはとても無念だろうし苦しいだろうなと思いました。他の人にとっては「つらかったね。」とか「悲しかったね。」とか過去になっているけれど、大崎さんからは絶対に過去にしないという信念が伝わってきました。兄弟さんの歌からは、「自分も死にたくなかったけど、涼香ちゃんのために生きない」という強い決意が伝わってきました。また、生きてくても生きられない人たちがたくさんいるということも分かりました。「命は1つしかないのでゲームのようにリセットすることはできません。」という大崎さんの言葉から、改めて自分の命や周りの命を大切にしていかなければいけないなと思いました。自分は「自分の命も周りの命も大切にする」というのを誓いの言葉にしたいと思います。このような交通事故や事件、いじめなど尊い命が奪われるような出来事が減ってほしいなと心から思いました。貴重なお話ありがとうございました。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 亜耶希

より

(Faint bleed-through text from the reverse side)



より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私の今回のお話を聞いて、考えた誓いの言葉は「大切な人(友人や家族など)に対する言葉遣いに気をつけたり、白と頭から感謝の気持ち伝える」です。あたりまえにいた大切な人との日常はいつ壊れてしまうか分からないので、今の一瞬一瞬を大切に生きていこうと思いました。亡くなった命は戻ってこないし、今の日常があたりまえとはかきらないということが今回のお話で分かりました。また、自分の命や友人、家族の命がいつなくなるかなんて誰も分かりません。そのため今を大切に、そして過去にあった自分の大切な人との思い出も忘れないよう生きていきたいです。大切な人だけでなく、これからほんと多くの人に対する態度や言葉遣いにも気をつけたいと思います。自分が原因で人を傷つけないように心がけて生活したいです。また、自分が事故などの加害者や被害者になり、言動が辛い思いをしないようにしたいです。その時は大丈夫だと思っても、後になって後悔しないように気をつけることが大切だとお話を聞いて思いました。被害者やそのご家族の気持ちを理解し、最初のほうに書いたとおり、今の一瞬一瞬を大切にしていきたいです。お話ありがとうございました。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より